



注意 ホスピタリティ業界の従業員

2025年01月01日～2025年12月31日に有効な最低賃金率

New York City

大企業 (従業員数11名以上)		小規模事業者 (従業員10人以下)	
最低賃金	16.50 ドル	最低賃金	16.50 ドル
40時間を超えた場合の残業代 24.75ドル		40時間を超えた場合の残業代 24.75ドル	
ファストフード労働者	16.50 ドル	ファストフード労働者	16.50 ドル
40時間を超えた場合の残業代	24.75ドル	40時間を超えた場合の残業代	24.75ドル
*サービス従業員	13.75 ドル	*サービス従業員	13.75 ドル
40時間を超えた場合の残業代	22.00ドル	40時間を超えた場合の残業代	22.00ドル
リゾート - 最低限のチップ	9.25ドル	リゾート - 最低限のチップ	9.25ドル
その他 - 最低限のチップ	3.55ドル	その他 - 最低限のチップ	3.55ドル
*フードサービス労働者	11.00 ドル	*フードサービス労働者	11.00 ドル
40時間を超えた場合の残業代	19.25ドル	40時間を超えた場合の残業代	19.25ドル

Long Island および Westchester County

最低賃金	16.50 ドル
40時間を超えた場合の残業代 24.75ドル	
ファストフード労働者	16.50 ドル
40時間を超えた場合の残業代	24.75ドル
*サービス従業員	13.75 ドル
40時間を超えた場合の残業代	22.00ドル
リゾート - 最低限のチップ	9.25ドル
その他 - 最低限のチップ	3.55ドル
*フードサービス労働者	11.00 ドル
40時間を超えた場合の残業代	19.25ドル

New York State の残部

最低賃金	15.50 ドル
40時間を超えた場合の残業代 23.25ドル	
ファストフード労働者	15.50 ドル
40時間を超えた場合の残業代	23.25ドル
*サービス従業員	12.90 ドル
40時間を超えた場合の残業代	20.65ドル
リゾート - 最低限のチップ	8.70ドル
その他 - 最低限のチップ	3.30ドル
*フードサービス労働者	10.35 ドル
40時間を超えた場合の残業代	18.10ドル

ご質問があるか、または苦情を申し立てる場合は、www.labor.ny.gov/minimumwage
をご覧ください。以下までお電話ください: **1-888-469-7365**。

上述の最低賃金よりも給与が下回る要因となる税金控除と手当:

- **チップ** - 雇用主は、あなたの賃金を抑えるために、限られた金額のチップを使用することができます。これは、チップクレジットと呼ばれています。あなたの雇用主は、あなたのチップと賃金の合計が少なくとも *最低賃金になる場合にのみ、チップクレジット徴収することができます。雇用主は、それでも、少なくとも上述した賃金率を支払わなければなりません。
例外: 配達員を含めたファストフード従業員か、1週間の平均チップが上記の最低時給額を下回るサービス従業員からは、チップクレジットを徴収することはできません。チップクレジット額は、残業時間についても同様です。
- **食事と宿泊** - あなたの雇用主は、あなたに何も請求しない限り、提供した食事と宿泊に対して、あなたの賃金から限られた額を徴収することができます。金額や要件は、賃金命令と概要で定められており、オンラインで閲覧することができます。

上述の最低賃金に付加して支給される場合がある割増賃金:

- **時給と残業代** - (給与か日当でなく、) 時給で支給する必要があります。そして、あなたは、週40時間 (住宅勤務の場合は44時間) を超える労働時間に対しても、通常の賃金の1.5倍 (上述の金額を下回らない) の支給を受ける必要があります。
例外: 有給の専門職か、週給が最低賃金率の75倍以上の役員と管理職の場合は、時間給と残業代は必要ありません。
- **コールイン・ペイ** - 雇用主の都合で早上がりさせられた場合は、その日の最低賃金額の時間外手当を受け取ることができます。
- **就業時間 (休憩時間を含む)** - 就業時間が10時間を超える場合、日当に割増賃金に加えた金額が支給されます。一日当たりの割増賃金は、最低賃金の1時間分の賃金に相当します。
- **ユニフォームのメンテナンス** - 自分でユニフォームをクリーニングした場合、追加の週給の支給を受けられる場合があります。週当たりの加算額は、オンラインでご確認いただけます。